

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合
発行 昭和53年9月 第51号 印刷・アート印刷株式会社



第1回農民運動会開会式（挨拶する児玉組合長）

第一回の農民運動会は雨の為一日のびましたが、十八日は絶好の運動会日和、記念行事の準備で懸念されていた当幌地区も参加いただき有難うございました。

競技が進むごとに応援も白熱、笑い拍手、そして表情の豊かさ、力の入った楽しい一日でなかったでしょうか。

組合員と家族の皆さんが一堂に集るのはが初めて。しかし意外にアルコールを飲むのが少かったよう、ハミリにとつてあるので編集ができたなら、こん談会や会合にでも見て貰いたいと思う。みんなの顔がうつるのは何とも楽しいものです。こんな機会を通じお互いの親睦と心のふれあいを大切にしたいもの。各地区の連合会役員さんには大変お骨折りいただきました。明年もこの時期と思いますが、ことしの反省の上になつてご協力をお願いします。二番草や畑作のとり入れでこれから又忙しくなります。健康管理や事故のないよう充分ご留意の程を。

参事 成田 武



第1回中標津農協 農民運動会盛会に終る

中標津農協主催第一回農民運動会が八月十八日、中学校グラウンドで行なわれた。第一回目とあつて七地区から組合員とその家族合わせて一、二〇〇人が参加、競技と応援にはりきつた。

開会式で大会長の児玉組合長から「当農協初めての運動会なので今日一日楽しく、けがのないようがんばってもらいたい」との挨拶があり、来賓の中曽根収入役、神成北農中央会支所長から祝辞をいただき、選手を代表して青年部の長瀨重樹君（拓農）が元氣よく選手宣誓をし競技をスタート。

プログラムも老若男女に分けて多彩。ビン入り牛乳を飲む「もつと飲む牛乳を」では選手からストローが短かくて飲みにくい、どうせやるなら食事をする前にとか綱引の「北方領土」では七回も戦つたのでうでがだるい、腰がいたい、などいろいろと不満があつたようですが、かっぱう着やモンペ、長ぐつなどを次々に身につけて行く「自給増産」などはユニークなプログラム。

農協では、来年に向けて反省をし、組合員、家族が楽しめる一日であるようプログラムの編成等を検討いたします。



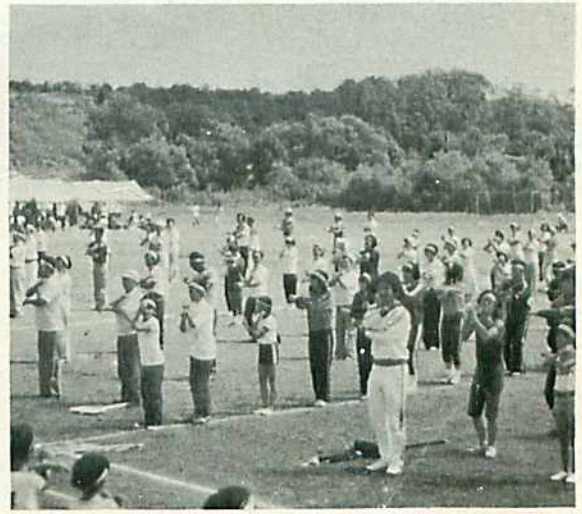
尚、成績は次の通りです。
得点結果

- 優勝 俣落地区 四〇六点
- 準優勝 武佐地区 四〇〇点
- 三位 第二俣落地区 三八六点
- 四位 俣橋地区 三八二点

- 五位 中標津地区 三八二点
 - 六位 開陽地区 三三四点
 - 七位 当幌地区 二九四点
- ※同点の場合は一位の数の多い方が上位。



俺が1等だー (ビンツリ競争)



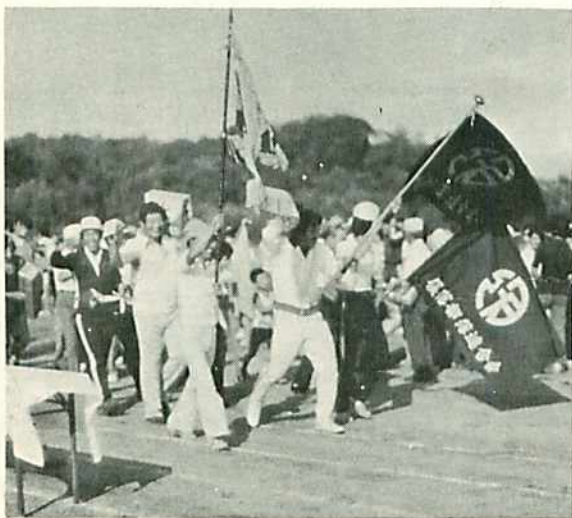
全員でラジオ体操を



どっちが主役？（婦人と職員のパレー）



素早く着替えるのがコツ（自給増産）



オリンピック並みですね（優勝パレード）



最終得点です。

根室税務署だより

◎ お年寄りや障害者と税金

お年寄りや体の不自由な方には、所得税の計算上、次のような特別の所得控除等があります。

▲ 老年者控除：二十三万円

▲ 納税者本人が六十五歳以上で年間所得一千万円以下の場合に控除されます。

▲ 老人扶養控除：三十五万円

七十歳以上の扶養親族（障害者に該当する人は除く）について、一般の扶養控除に代えて控除されます。

▲ 老人配偶者控除：三十五万円

七十歳以上の控除対象配偶者（障害者に該当する人は除く）について、一般の配偶者控除に代えて控除されます。

▲ 障害者控除：二十三万円（重度の障害者は三十一万円）

納税者本人や扶養親族などで、体が不自由な方について控除されます。

▲ 老年者年金特別控除

六十五歳以上の方が公的年金を受けている場合は、特別に公的年金の年取額から七十八万円が控除されます。

昭和53年度 根室ホルスタイン共進会

根室生産連の創立三十周年記念
根室ホルスタイン共進会が八月七、
八日町内南中の共進会場で管内の
各農協から三五〇頭の優良牛が出
陳され開催された。
審査員には酪農の本場、カナダか
ら国際的なホルスタインのジャッ
キング、プロであるパートラム、
スチュワート氏(四五)が招かれ

- た。外国人による審査は根室管内
では初めてだが同氏は「ジュニア
クラスの牛に将来、期待できるも
のが多い。日本の酪農家の改良意
欲の高さを感ずる。また同氏
と一緒に、本道に優秀な乳牛を輸
出しているカナダ、オニタリオ州
グランワース市のショアさんも来
町。ショアさんは「取引を通じて
みていても、牛の選び方など日本
の酪農家の目は肥えてきた」と二
人とも道内酪農の水準の高さをし
きりにほめておりました。
- 中標津農協から四五頭が出陳され
二〇頭が入賞したが特にジュニア
クラスに入賞牛が多いのは乳牛改
良技術と意欲を示すものとみる。
中標津農協の入賞牛は次の通り
- 第一部 ホルスタイン種・種系
北とくクラス(七カ月以上)十一
カ月未満)
- 一等二席 ミドリ・トレパートナ
ー・クリスタン (開陽 中本栄
二) 一等三席 アシュリー・メア
デル・ジョビ (協和 花川秀
一) 一等五席 ポーラ・レイブ
ン・ベネット・ネリー (共成
太田功) 二等一席 ローマンデ
ール・アグロロチョイス (北光
前原順一)
- 第二部 ホルスタイン種・種系
当才ジュニアクラス(十一カ月以
上)十五カ月未満)
- 二等六席 ドニール・ジャニス・
クリスタン (南共栄 長正路清)
二等十三席 ホワイト・ベネット
・ピクター・ポプ (北進
川村清身)
- 第三部 ホルスタイン種・種系
当才ミドルクラス(十五カ月以上
十九カ月未満)
- 一等三席 ベネット・サリー・レ
デイ (南俣落 上ヶ島国雄)
一等四席 ジョハナ・クイーン・
クリスタン・ウオーデン (共成
太田功) 二等二席 クロシル
ド・スカイラク・ネット (南
中 纒坂泰民) 二等三席 ヘン
ガー・ベルト・ローヤル・チム
(協和 花川稔) 二等四席 ミ
ス・ヨーク・クリスタン・コック
ー (北進 川村清身) 二等九
席 ナシヨナル・サウンド・ジョ
デイ (開陽 鈴木重蔵)
- 第四部 ホルスタイン種・種系
当才シニヤクラス(十九カ月以上
二十三カ月未満)
- 二等二席 カウンテス・クリスタ
ン・ブライド (俣落 松本正通)
二等三席 メリー・エディシオン
(本俣 杉本国視) 二等七席
ブローイング・マラソン・ファ
ム・ヒット (高嶺 横田光章)
- 第五部 ホルスタイン種・種系
二才未経産クラス(二三カ月以上
二九カ月未満)
- 二等二席 リバビレージ・デボジ
ター (東俣橋 福島広光) 二
等七席 ロックミラー・レイジェ
ル・ラッス (北町 土井上昭男)
第六部 ホルスタイン種・種系
二才経産クラス(二三カ月以上
三五カ月未満)
- 二等二席 ジョハナ・カドア・
ヒストリアン (南中 正城純二)
第七部 ホルスタイン種・種系
三才経産クラス(三五カ月以上
四七カ月未満)
- 二等二席 エーベネット・ウオー
カーローヤル (南俣落 鷺見
孝)
- 第八部 ホルスタイン種・種系
四才経産クラス(四七カ月以上
五九カ月未満)
- 二等八席 エルクカー・ハイブン
・エコー (豊岡 佐藤拓) 二
等十席 アグロ・デコール・チル
ダ・シューブリーム (南俣落
藤田清)
- 第九部 ホルスタイン種・種系
成牛クラス(生後五九カ月以上)
- 二等一席 スカイラク・ルンド
・プレミア (俣落 阿部稔)
二等十一席 ダイナミック・ピ
ーテイ・ワカバ (豊岡 岡部実)
第十部 ホルスタイン種・種系
乾乳クラス 二等三席
五十ビューティ・ライナー (俣
落 松本正通)



審査員のスチュワート氏

獣医師から一言

放牧している時に注意したい病氣

雪印中標津工場 芳野 誠

今年の天候は、牧草や飼料作物の生長、取獲にはまれにみるほどうってつけのようです。

でも、あまりの暑さに牛も相当まいてしまったようです。この辺の乳牛は暑さに対しては慣れていませんから、毎日うんざり、げんなりしていたことでしょう。

おまけに今年は気候のせいでしょうが、アブの発生が多かったようです。暑さとアブの大群で牛が茫然と突っ立っている姿を見かけました。やはり、熱射病、日射病にかかった牛が多かったようです。かなり体力を消耗していますから、カロリーの高い飼料などを与えてやりましょう。さて、放牧をして

いる牛の事故も結構あるようです。放牧地の管理の問題等もいろいろあります。例えば草種、施肥、放牧体系などの問題がありますが、ここでは放牧中に多発する乳牛の疾患と一言でお話してみます。特に若牛で、ずいっと放牧され続けているものでは、ややもすると発見がおくれ、大事にいたる

ことがありますが注意し度いものです。

◎未経産牛の乳房炎

多くは育成中の牛で妊娠とは直接の関連がありません。二カ月令ぐらいの子牛にも発生します。ですから、発見がおくられてしまうことが多いのです。

この乳房炎の原因はいろいろなものが考えられますが、一、哺育期においても感染します。他の子牛によって乳頭が吸われることも原因となります。

二、乳線が発育中、牧草中にあるエストロゲン様物質を多量に摂取することも原因となります。

三、昆虫によって、アブなどの吸血昆虫によって、乳房を刺されたあとに乳房炎になることは多いのです。

◎乳房に外傷をうけたり打撲を起こして乳房炎になります。

搾乳中の牛はもちろんのことですが、乳頭や乳房を傷つけたら（バラ線などで）「乳房炎になるかもしれない」と言うことで、一週

間ぐらいは特に注意をしてやるこ

とが大事です。五、暑さで体力が消耗したり、牛舎やパトックなどの汚れも乳房炎にかかりやすくなります。

この乳房炎は、分房が赤くなったり、腫れたり、熱があつたり、硬結があつたりすることで発見できます。又、発熱をすることもありません。牛は、かなり痛がりま

す。治療は、やはりどどん搾って、抗生物質を使うこととなります。この病氣はいつたん躍るとなかなか治りにくいものですから、先

程述べた原因となるものに充分気をつけて、予防してやるのが大切です。

◎ピンクアイ

この頃、共同放牧地などでもよく見られる眼の病氣です。ウシ伝染性角膜結膜炎と言いますが、両眼のときもありま

◎初期には、涙を流したり、眼をこすりつけたり、群から離れて立っ

ていたりします。中期の症状になると、結膜が充血したり、角膜が白濁しますから、ほとんどがこの時期に発見されることとなります。

にとどまりますが、症状が進みま

すと、眼瞼が腫脹し、眼ヤニが膿様になり、角膜の中央に白色の斑点ができ、突出してくることもあります。発見がおくれたり、重症になると、まれには失明することもある様です。

ホウ酸などで眼を洗い、クロマイなどの抗生物質の点眼が効果があります。

数日で治ることもありますし、数週間かかることもあります。

◎趾間腐爛

マタグサレとよばれます。

皆さんのよく知っているもので

すから、説明は省きますが、これは牛床や牛の通路、牛舎への入り口などの汚染が原因となります。

ですから、同じ時期に数頭づづけてかかったときはこれらの箇所を乾燥させ、消毒しておくことが大事なこと

です。かなり重たい体重を支える肢ですから、ちよつとした傷や痛みでも乳牛の寿命に影響します。マタグサレだからと言って簡単に考えないで予防、治療に気をつけて下さい。

猛暑で生乳生産 ダウン!! わずか前年の2.5%増

記録的な高温がひびき、道の生乳生産は伸びが大きく鈍化した。指定生乳生産者団体のホクレンが

まとめた七月分の受託乳量では、対前年比わずか二、五%増にとどまり、五十年五月以来の低い伸び率、比較的冷涼な根室管内でも四、四%増がやつとなど全体的に落ち、四月からの累計受託乳量は六十五万四千六百トン伸び率は六月までの累計七、〇%から一機に五、八%に落ちた。六、七月は年間の月別乳量が多い月、また乳牛は一度泌乳量が低下するとその後のエサや環境が良くても本来の泌乳曲線にもとるに時間がかかるとされる。今年の生乳生産の伸びは関係者一致して八%前後と見ていたがこの猛暑に端を発し見通しが大きく違ってくる可能性が強くなっている

根室管内 農協経営者研修会 に出席して

管理経済委員長 三友 盛行



組合員勘定七月末の結果から

七月末の組合員勘定をみて、まず注目されることは、農畜産物の

収入の伸び率より、農業経営費の伸び率が高いことです。収入は、価格の低迷と、生産の鈍化が大きく影響し、一方、支出は、生産資

材、養畜費、租税公課等を中心に予想以上に増加しています。当然貸し残が昨年の七月末より、一億三千三百万円も多い結果となりま

八月九〜十日の北農中央会中標津支所が主催する研修会に理事十名、監事三名の計十三名が出席して、二日間にもわたり勉強してきました。

講師には、「酪農情勢をめぐる今日的課題」と題して、農業協同組合新聞編集部長の岡本末三氏、「低経済成長下における農協の役割」と題して、興部町農協組合長の安藤正雄氏の両氏でした。

以下そのお話しの内容を記してみました。

岡本氏のお話は、日本の経済政策は、工業優先で農業の自給率を著しく低下させた。今日国際収支の大幅な赤字により各国より、強い経済調整をせまられている。その結果農業を犠牲にした農産物の自由化という道をとりはじめてい

組合員相談課

年度当初よりお願いしているように、本年度は、十二月末をもって貸し残を総て○にする方針で進めております。

今年も余すところ、わずかに四ヶ月しかありません。

今から心掛けて、計画と、実績とを対比し、よく検討をしていたら、どうでしょうか。

る。

このような情報下では、農民は農村内部からの自発的な事業をおこして、農民自からの要望を政策化させる必要がある。例えば地域推進農政事業、第三次構造善事改革等の活用。

また農産物価格については、国八千億の円を使っているが、実際はタテ割方式で個別、品物別に価格決定がなされ効果的でないのがECのように十月〜十一月の間に統一価格政策をとることにより、

農産物価格の横のバランスがとれ、生産者は作物の選択が出来、作付面積のバランスがとれる。それと同時に生産資材長期平均販売価格の設定をどうするか。これは五年間の平均を見越して価格設定をし、最終精算は五年ごとにプールするという方法で、このことによつて生産費の安定がはかられ、生産者は安心して営農設計ができるであろう。

不況下における現在酪製品の消費は家計費に対して0.98%で、食糧費に対して2.89%ときわめて低い。

このような現象の中で系統農協は広域流通対策の促進をはかる。牛乳では適地適作で南北間の競合をさせ全国的視野の中で、飲用乳、乳製品の消費拡大を計るべきではないだろうか。

以上のようなお話の内容で、岡本氏は、中央で活躍されるジャーナリストとして世界をみつめることにより日本農業をみようとしていようでした。

翌日の安藤組合長のお話では、興部町農協の概要についての説明があり、それによると、組合員二百戸で七十戸が搾乳で九十頭の牛と二百頭の肉牛がいる。

平均面積は二十三haで職員九十八人、牛乳代金二十四億円、個体販売七億二千万でした。労働の省力化は、時間当りの内容の高度化ということでも省略化ではないことを留意すべきだとし、それぞれの経営の中で考え行動していくことが望ましい。

農協の真の役割は生産指導、生産事業を通して組合員の生産の伸長をはかる事。その方法として興部農協では農機具管理センターの設立、生産団地建設、営農類型の設定等を実践して、個人の出来な

い面での先駆的役割の負担をした。また行政の手の届かない面を拾い上げる。例えば農協独自の中期のプロパー制度の確立など、組合員は農業経営者として、土地十労働（知能団体）十資本の適正な結合により経営の確立をなし、地域連帯の中で向上をめざし、単協は生産指導事業を通じ、また個々の

組合員の力を結集して組織としての力を発揮させる系統団体は、試験、研究、生産の向上をはかり加工、処理をして販売ルート確立によるメリット追求を組合員に還元する、また行政は農業の目標を明確にする等、それぞれの分野で努力することにより農業を向上させることが大事である。

以上のようなお話で、安藤組合長は農民であり、長い農民運動家の体験を通しての身近な内容のものでした。

二日間の講演を通して感じましたことは、日本の辺地にある根室の酪農も今日においては、日本経済の影響を受け、日本経済は、世界経済の中で推移するということが、根室酪農も世界経済と深くかわりがあるということでしょう。また粗放経営が許されていた感のある根室酪農もより高度な集約化された、酪農の道をとるようになるでしょう。

二日間の研修の中で得たものを今後の農協経営の中に少しでも生かしていきたいと覚悟を新にしました。

以上

組合員勘定の推移 (7 月末)

(借方)

(貸方)

(単位千円)

項目	前年度(52)実績		本年度(53)実績		対比 %	計画に 対する 進捗率	項目	前年度(52)実績		本年度(53)実績		対比 %	計画に 対する 進捗率
	金額	対前年	金額	対前年				金額	対前年	金額	対前年		
50 労賃	24,419,920		27,178,264	111.3	34.1	01 生乳	1,386,222,116		1,536,196,914	110.8	49.7		
51 肥料費	554,192,095		595,194,318	107.4	103.2	02 補給金	434,847,602		503,538,060	115.8	57.0		
52 生産資材費	175,560,932		206,709,424	117.7	48.6	03 肉用牛	54,867,588		32,498,213	59.2	23.7		
53 飼料費	546,349,820		595,052,682	108.9	68.0	04 乳用牛	42,088,423		46,865,060	111.3	15.2		
54 養畜費	135,530,888		156,215,108	115.3	54.6	05 豚	0		0	0	0.0		
55 賃料料金	33,991,184		38,428,020	113.1	18.1	06 その他畜産物	183,920		580,000	315.4	15.7		
56 支払利息	14,730,535		16,611,059	112.8	5.2	畜産収入計	1,918,209,649		2,119,678,247	110.5	47.2		
57 租税公課	118,287,476		178,206,899	150.7	64.7	ベ- ト	0		0	0	0.0		
58 その他経営費	184,093,504		217,462,328	118.1	50.0	11 穀粉、種いも	33,285,278		29,535,800	88.7	5.6		
						13 その他農産物	6,361,970		5,142,760	80.8	14.9		
						農産収入計	39,647,248		34,678,560	87.5	6.0		
経営支出計	1,787,156,354		2,031,058,102	113.6	58.7	農畜産物計	1,957,856,897		2,154,356,807	110.0	42.3		
60 家計費	308,541,702		356,120,642	115.4	51.0								
70 資金返済	126,130,891		150,424,358	119.3	36.4	20 農外収入	5,673,153		1,754,186	30.9	36.7		
71 共済掛金	18,769,135		22,215,349	118.4	22.6	21 資金借入	420,664,526		5,300,000	1.3	161.7		
72 農業機械	70,693,431		69,170,921	97.8	48.4	22 資金受入	81,091,644		38,154,278	47.1	55.3		
73 貯金	230,156,601		230,922,040	100.3	57.3	23 その他収入	345,901,845		533,926,199	154.4	199.8		
74 その他支出	680,535,463		424,660,953	62.4	101.6								
合計	3,221,983,577		3,284,572,365	101.9	60.8	合計	2,811,188,065		2,733,491,470	97.2	52.8		

組合員勘定高	貸し残		預り残		差引残高
	52年	53年	52年	53年	
	498,234千円	631,985千円	87,438千円	80,904千円	410,796千円
					551,081千円

農協共済の仕組みとその効用

七月号で、長期共済の中でも広く

くご契約いただいている生命共済について説明いたしました。今回は短期共済のうち最も契約利用の多い火災共済、自動車共済、自賠責共済の三種類にしばり説明いたします。

一、短期共済

「火災共済」

(1) 加入できる範囲
 ■住宅物件Ⅱ住宅に付属する納屋、物置、倉庫、畜舎、農作業所などの、建物及び、建物に収容されている、衣類、家具、調度品、電化製品、などの家財が対象

■普通物件Ⅱ事務所、店舗、などの建物及び、収容されている動産

(2) 契約の金額、期間
 ■金額Ⅱ最低限度、一万円、最高限度、二五〇〇万円。

■期間Ⅱ七日、十五日、一ヶ月、十一月、一年、二年、三年、

(3) 共済金の支払
 ■支払対象Ⅱ火災、落雷、破裂又は爆発、航空機のつい落、車輛、又は積載物の接触等です。

■支払額Ⅱ共済金額と建物、動産等の評価額の割合によって、支払額が、決定します。又、他の共済や、保険にも加入している場合は夫々契約の割合によって、支払い

ます。

■事故が起きたら、直ちに組合に連絡する事。査定には、組合の担当者と、共済連の査定員が、査定し損害額を決定致します。

「自動車共済」
 今日、最も契約件数の多い共済で自動車による損害をそれぞれの契約種類ごとによって支払いします

(1) 車輛契約Ⅱ自分の車が、衝突転落、盗難など、偶発の事故によって、損害を受けた場合に共済金を支払います。

■全損の場合Ⅱ共済金額相当額を支払います。

■分損の場合Ⅱ修理費から、共済証書記載の免責金額を差し引いたものを支払います。

(2) 対人賠償と対物賠償契約
 ■対人賠償契約Ⅱ自分の車を運転中、事故で歩行者、同乗者、他の車の搭乗者等を死傷させ損害賠償の責任を負ったとき、自賠責共済保険の上積みとして賠償金を支払います。

■対物賠償契約Ⅱ自動車事故で、他人の車や、建物、電柱、ガードレール、家畜、等に損害を与え賠償の責任を負った時に共済金を支払います。

(3) 搭乗者特約

■自分の車の搭乗者や、運転者が死傷した場合に支払います。
 以上の様な共済をそれぞれ組合せに契約できます。なお搭乗者単独の契約はできません。

(4) 共済金額の最高限度
 ■車輛契約、五〇〇万円
 ■対人賠償契約、五〇〇〇万円。
 ■対物賠償契約、五〇〇〇万円。
 ■搭乗者契約、一〇〇〇万円。

(5) 共済掛金割引制度
 ■無事故期間
 一年十％
 二年二〇％
 三年三〇％
 四年四五％
 五年五五％(最高割引五五％まで)

(6) 共済金の支払い
 ■事故が発生した場合に直に、警察署へ事故の届けをすると共に、農協へ連絡願います。

■事故によって、車を修理する時又、相手と示談する時や訴訟を起こされたりする時は、必ず、事前に、農協に通知し、承認を得る様に願います。

■請求の手続きは車輛の請求の場合、損害見積書、写真、対物賠償は右記の外示談書、対人賠償は示談書の外立証書類等が必要で、まず農協へ連絡して下さい。

(7) 共済金が、支払い出来ない場合。

■車輛契約、搭乗者契約で、契約者が、無免許、酒酔運転をした時或は被害者が無免許、酒酔運転をした運転者の時などです。
 「自賠責共済」
 自動車損害賠償保障法によって全ての自動車に契約締結を強制している共済です。強制保険とも呼ばれています。

自動車事故で被害をこうむった場合その事故が相手の過失によって起った時に相手方に対して損害賠償の請求をする事が出来ますが、被害者に賠償能力がなければ、被害者としても賠償を受けられないので、自賠責保険(共済)は全ての自動車に加入させて被害者の保護を第一の目的とするとともに、資力が無く賠償能力が弱い加害者を保護する目的も含まれています。

(1) 契約対象外車
 ■道路以外の場所だけで使用する車(小型耕運機)

(2) 共済掛金
 ■掛金は車種、用途、契約期間などによって違います。

■共済金の支払い請求
 ■加害者が被害者に対して支払う損害賠償の金額は損害の程度や被害者の過失の有無などによって違います。

■自賠責共済の共済金が支払われるものは人身事故の場合に限りま

すが、共済金額の限度額も、死亡傷害、後遺障害に、それぞれ分けで定められています。
 又七月一日より自賠責法の一部改正があり次の様に金額が変更になりました。

■死亡Ⅱ一、五〇〇万円Ⅰ二、〇〇〇万円
 ■後遺障害Ⅱ一、五〇〇万円(一級)Ⅰ五六万円(十四級)Ⅱ二、〇〇〇万円(二級)Ⅰ七五万円(十四級)

■傷害Ⅱ一〇〇万円Ⅰ一二〇万円
 ■共済金の請求手続きは前述の自動車共済の場合と同様に事故発生したら直ちに契約先の農協か、最寄りの農協に連絡し必要書類の確認を受けます。

(4) 自動車共済と自賠責共済のセツト加入をすると有利です。
 ■自賠責保険と自動車共済が、別々に契約している場合、事故発生で請求手続きする時に、時間がかかる事が多いので、できるだけセツト加入をお奨め致します。

利点は次の様な事が有ります。
 1 示談交渉が、スムーズに運びます。
 2 共済金の支払いが早くなりま

す。
 3 請求書類が簡単になります。

日東化学鋤路工場製品の 肥料包装が新しい包装袋 に変更さる。

肥料の包装用ポリ袋は各社共現在迄空気抜のため両面に十二ヶ所のピンホール加工をしていたが長期保管時の吸湿による製品の泥状化・固結化等の問題があり包装袋の改良が要求されて居りました。日東化学鋤路工場では五四年度使用の分よりピンホール(穴なし)のないポリ袋に振動充填による包装方式を開発し製品化することになりました。

1 新包装袋の優位性
イピンホールがない為外気による

る吸湿及び雨水浸入・固結等が防止される。

口振動充填・圧縮整形により袋内の肥料密度が均一化され包装袋の形状が一定化されるため配付作業が容易となり保管状況が良くなる。

ハ包装袋の空気量が少いため積込み荷卸し配付・施肥機投入等作業が容易である。

2 各種試験検査の概要と結果
イ屋外推積試験―屋外シートなしのテストを実施しているが五ヶ月経過しても固結・荷崩れ又外観の変化はしない。

ロ浸水試験―包装袋を水に埋没してテストを実施中であるが従来の製品はピンホールから

の水の浸水で一ヶ月で泥状化するが新包装の製品については浸水の心配はない。

ハ低温試験―厳寒期における屋外でシートなしによる推積を想定し冷蔵庫(1)二五度C(二六度C)に三ヶ月保管した

が吸湿と固結はしない。

ニ高温高湿試験―恒温室に六十五度C水分飽和の悪条件による三ヶ月テストでも固結外観変化はない。

ホ成分変化試験―新包装後三ヶ月経過した製品の成分測定をしたが品質の変化がない。

以上列記した通りテスト等では好結果が出て居り日東化学工場では新案特許として申請中との事。

記

〔新包装の銘柄は〕

1.	草地化成	1 2 2
2.	〃	0 5 5
3.	〃	4 5 6
4.	〃	7 5 7
5.	〃	2 号
6.	〃	3 号
7.	〃	10 号

(7銘柄)

以上が新包装の内容です。

五四年度の肥料取まとはは現在取まどめ実施中です。

ご承知の様に数量的に大量となり早取として従来よりご協力を願って居り価格についても安くありませんので特段のご協力を重ねてお願い致します。



54年肥料の価格状況 と容量の変更について

七月一日より新しい肥料年度(七月〜翌年六月三十日)となったが価格については諸条件の緩和により若干であるが昨年と同様値下りとなりました。

大別すると次の内容となります。

記

〔値下げ内容は〕

1.	窒素質肥料	0.81%
2.	りん酸質肥料	0.96%
3.	加里質肥料	0.69%
4.	普通化成肥料	0.30%
5.	高度化成肥料	0.26%
平均の値下げは		0.25%

となります。

〔変更となる肥料は〕

1.	熔 磷	~
2.	熔 過 磷	~
3.	いも6号	~
4.	草地2号	~
5.	〃 3号	~
6.	〃 7号	~
7.	〃 8号	~
8.	〃 10号	~

30K入が20K入となります。

合計 8品目

農業新聞を読もう

参 事 成 田 武

日本農業新聞は四月から日刊になりました。誌んでいる方は今のところ組合員の約半数です。

内容も前よりかなり豊富になりました。これからは全般的な農業の動きや取組んでいること、或いは

経済のことなど常に知るのが大切、小生も仕事の関係で大変参考にしていきます。

購読料は一ヶ月で一、三五〇円。一ぱい飲むつもりなら安いものだと思います。未購読の方は是非読むようにして下さい。申込み窓口。組織広報係へ。

組合員訪問の意見と対応

の対応どうするか。

対 応

「農民を守る農協本来の性格にもとづく民主的な運営をし、組織、事業、財務を強化農民経済の協同化に努める。」

要望意見

「人工授精事業問題どうなったか共済組合との話し合い進んでいるか。」

対 応

「理事会の外に特別委員会を設置道内先進地農協を視察研修取り組み中です。」

要望意見

「生乳生産過剰今後不足払いも切られると思う農協の指導の在り方を考えるべきだ。」

対 応

「輸入の問題もあるので一概に生産過剰とは言えない需給の現状から見ると過剰の現象と見て良い。不足払い制度を守ろうとすれば限度数量でしめつけるでしょう。一つの転機に立つたと言う事なので今後充分検討する。」

要望意見

「牛乳の消費拡大方策はどうか。」

対 応

「具体的案を検討中であるのでまもなく具体的案が出るものと思う。それにより強力で推進する。」

要望意見

「農業構造改善事業の投資。」

対 応

「今後の投資の方法は長期的に考える必要がある。将来に立つて

経営の確立をどのようにするかをもっとにつめながら投資の存り方を検討したい。」

要望意見

「農業後継者の嫁さんを考えてほしい。」

対 応

「全体的には順調に行っている判断している。今後町、農委とも連絡し合い一層努力したい。」

要望意見

「永年草地の更新、排根線の種子撤布早く出来ないか。」

対 応

「永年草地の更新は今年中に調査し早ければ今秋からでも実施したい。業者、請負で事業をやっているが工期を八月一杯としている。施肥、播種の作業は時間的な問題となるので作業が集中しようしてもおそくなる。」

要望意見

「排根線の除去一部自分でやれないか。」

対 応

「業者請負なので出来ない。」

要望意見

「休農者の土地農協で拡大のため話し合いしてほしい。」

対 応

「情報を提供して下さいれば出来ると思います。なお地区の農業委員の協力も必要である。」

要望意見

「標準的な経営頭数は何頭か。」

対 応

「経営面積、労働力、資本金、経

営能力等が規模を決定する要因となる。個々の経営実態の中で検討すべきである。」

要望意見

「今日の酪農家は働きづめの毎日である、遊ぶ事も必要である。」

対 応

「出来るだけ無駄を省き合理化を進めそのための時間をつくること。将来的には組合員に信頼されるヘルパー制度のようなものを検討する必要がある。」

要望意見

「防風林解放に努力してほしい。」

対 応

「関係機関と連絡をとりながら運動中である。」

要望意見

「農業者年金制度について詳しく教えてほしい。」

対 応

「組合員だよりを通じて数回にわたり解説したい。」

要望意見

「海外研修旅行に同委員会外でも参加出来ないか。」

対 応

「同委員会青年部以外でも組合員であれば参加出来る。」

要望意見

「農協総合共進会の日程について早めてほしい。」

対 応

「地区代表者と協議して明年よりの日程を早めるようにしたい。」

「その時点において個々に協議して対応の方法を考えたい。」

対 応

「乳検事業に参加したい。」

対 応

「参加希望を取り纏め(五十二年四月に五十四年五十五年五十六年までの希望を取り纏めてある)全道的枠の中で対応している。」

要望意見

「成分的乳質の規制によりきびしくやってほしい。正直者がバカを見る。」

対 応

「充分留意して指導に努める。」

要望意見

「ロードワゴンには延払で購入出来ないか。」

対 応

「農機具延払については春延(六月十日迄申込)秋延(十月三十一日迄申込)の二本建となっており当前ロードワゴンも延払の対象となりますので需要の方は組合員係を通して申込をされた(金利は年六・五%)」

要望意見

「組助振替取引での奥様サービス券の配布。」

対 応

「以前より交付しております。但し煙草、塩、外販取り纏め等の商品については交付していません。」

対 応

(次項一段につづく)

本組合協同活動三カ年運動実践計画の一環として六月二十二日豊岡、協和、拓農、当幌地区七十一戸を十班編成、七月二十八日武佐地区七十三戸を八班編成を以って各戸を訪問対談の中から主なる要望意見をその対応については次の通りです。

要望意見

「通常総会前の懇談会は地元会館でやってほしい。」

対 応

「意見の通り実施したい。(組合員の協力と理解を得て近隣会館で)」

要望意見

「近い将来組合員の経営が良くなくなり農協はなれが生ずる。その時

(1) 組合だより

- (前項五段よりつづき)
- 要望意見**
- 「種子の手数料が若干高い様に見える。他の農協とはどうか。」
 - 「管内農協を比較しても最底の手数料となっておりますのでご了承願いたい。」
- 要望意見**
- 「系統とメーカーで購入する農機具の価格差がある。」
 - 「系統では良い機械を安く適正に導入し効率的な利用と正しい管理並びに経営費の節減を図ることを目標とし将来に向けて機種を選定等も考慮に入れて実施中です。」
 - 「現在系統の輸入ライセンスの持っている農機具については価格支払条件等も更に有利となりますので購入時には資材課へ相談下さい。」
- 記**
- 特別有利性のある銘柄
- デビットブラウン（トラクタ）
 - キャサリー（ハーベスター）
 - フェラー（デスクモーター、テッターレーキ）
- 支払条件、延払は100万円以内、四年払い。
- 100万以上六年払い。
- 要望意見**
- 「戸別訪問の時期を検討してほしい。」
- 対 応**
- 「充分検討対処したい。」
 - 「要望意見」
 - 「総会の時期を早めてほしい（十日早く）」
 - 「内部的に検討実施したい。」
 - 「要望意見」
 - 「畑作農家にも来てくれるような実習生を斡旋してほしい。」
 - 「対 応」
 - 「期待にそえるよう努めたい。」
 - 「要望意見」
 - 「乳価交渉の中で話しのアあった負債の最長期化についてどうなっている。」
 - 「対 応」
 - 「強力に要請を続けておりますが現在のところ具体的案はでておりません。」
 - 「要望意見」
 - 「乳代精算書の内容を説明してほしい（組合だよりで）」
 - 「対 応」
 - 「組合だよりで説明する。」
 - 「要望意見」
 - 「今年の天候状況より見て馬鈴薯収量相当期待出来る、受入について最良の方策で対処してほしい。」
 - 「対 応」
 - 「全生産者と協議最善の方策にて実施すべく具体案を検討しております。」

乳牛飼養頭数集計表

(53年8月1日現在)

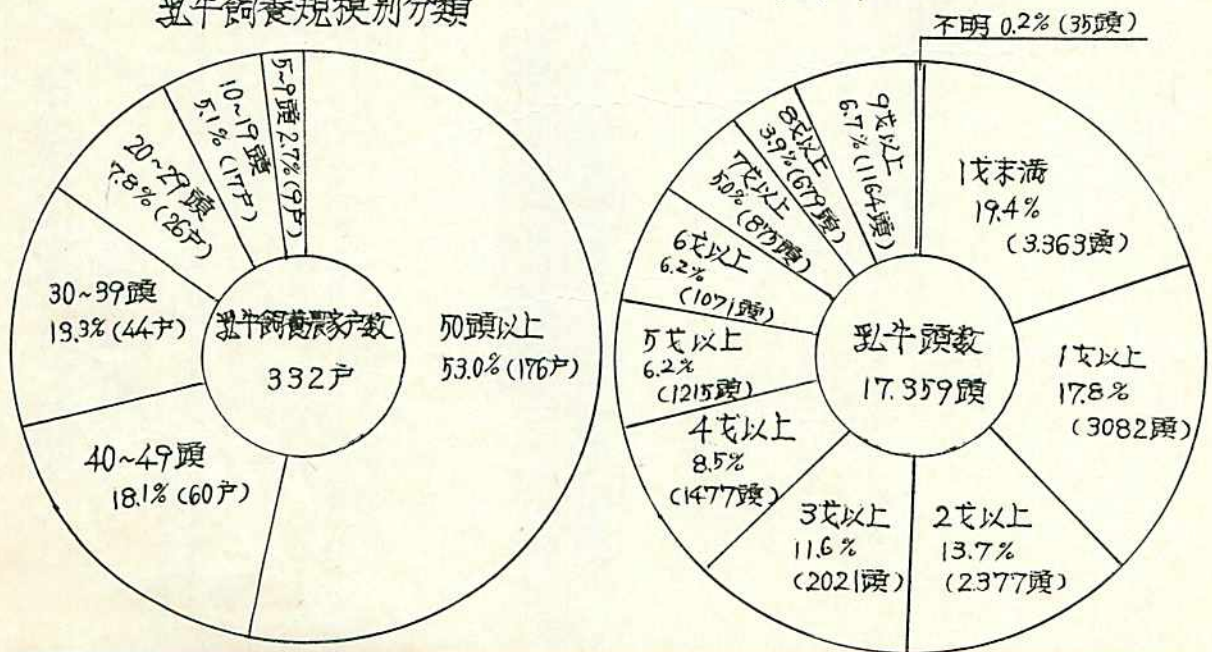
項目	53年度	52年度	増 減	前年度対比
総 頭 数	17,359頭	16,213頭	1,146頭	107.1%
経産牛頭数	9,098	8,439	659	107.8
未経産牛頭数	8,261	7,774	487	106.3
乳牛飼養数	332	326	11	103.4
1戸当り飼養頭数	52.3	49.7	2.6	105.2

乳牛飼養頭数調査を八月一日現在で北根室農業改良普及所、雪印乳業（株）中標津工場、中標津農協の三団体に調査致した結果別表の通りです。

乳牛飼養頭数調査まとまる

畜産課

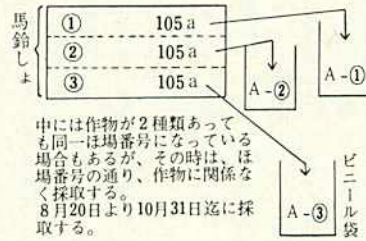
乳牛年令別頭数分類



ジャガイモシストセンチュウ 土壌検診について

農産課

筆につき一点を採取する。標準は、一筆が一ha前後となっている。面積の大小、同一作物であっても、ほ場番号のとり採りして、二筆分は絶対混合しないこと（面積が大きくなると発見の確率が低下する）



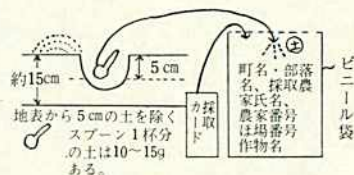
2 土壌採取法

- (1) 8歩法による採取
- 8歩法とは、大人の足で8歩（約6m）の間隔で歩き、採取する。



大人1人で、1日で採取できる面積は5～6haである。

- (2) 土の採取方法
- ライスカレーの大スプーンに一杯を一ヶ所から採取する。



- 1haの土は3～4kgとなる。
- 1筆の面積が小さい場合でも土は最低1kg以上必要である。
- 採取カードは必ず記入して入れる。

(3) 採取後の処理法

- 採取した土壌は、風のない場所に、ミニコンテナに新聞紙を敷いてコンテナを重ねて乾燥する
- 土はできるだけ細かく砕き、石、軽石、根等を除くこと。
- 土の乾燥は、土ボコリが立つ程度までにする。土の乾燥が悪いと、検診の値がないので、乾燥は十分に作る。
- *風燥後は、図示の如く、ピニール袋の表に、町名、部落名、氏名、農家番号、ほ場番号、作物名をマジックインクで記入し、中に土壌採取カードを必要事項を記入して入れる。
- 一斤分はまとめて、ダンボール又は肥料袋に入れ、住所氏名を記入。

合理化澱粉工場 操業近づく

近年まれに見る好天続きで馬鈴しも昨年よりは増収が見込まれ九月五日に操業式を行い、その後試験操業を行い乍ら、機械の調整を見て十五日からは本格的に操業を行うことになりました。

本年もスムーズに原料受入をするために、出荷契約をし、契約数量を基本にして十五日よりチケットを発行して適正かつ公平な受入を、組合員相互の信頼を裏切ることなく操業致したい。

配合飼料格価 の値下げについて

現在アメリカをはじめとする輸入国の作況はその後の好天候により生産予想も当初の推定を上廻る見込となり高値局面が回避された又外国為替相場については円高に推移している、船運賃については荷動きの低迷により現在値上げがされていない。

等の理由から値下げがされました

一、期日／八月一日出荷分より

二、平均値下げ額

北海道全畜種平均トシ当り

三、〇二四円

三、畜種別値下げ額。

乳牛用／三、〇〇〇円

肉牛用／二、五〇〇円

牛人口乳／据置き

成鶏用／三、七〇〇円

右の価格改定実施期は八月一日から十二月三十一日出荷分迄です。

猶特別対応措置として、くみあい飼料と雪印飼料は七月一日よりの出荷分より値下げ適用となります

他社メーカーについては未定ですがくみあい、雪印各飼料メーカーに追随される事が予想されます。

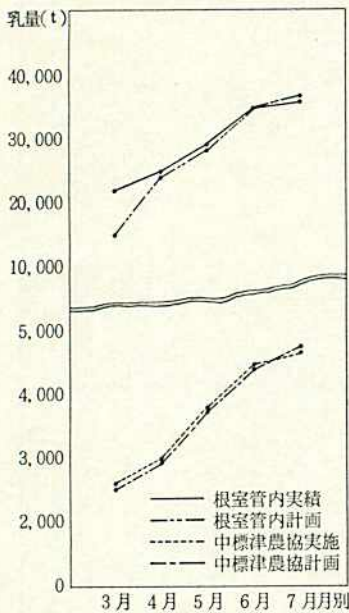
価格表は次の通りです。

各社配合飼料価格表

昭和53年8月1日改定

品名	規格	飼料		配合	合計	品名	規格	配合		合計
		小売価格	旧価格					小売価格	旧価格	
乳牛 16号	20Kバツ	1.016	1.090	1.075	1.110	ヨーデルエース(P)	20K袋入	1.135	1.165	1.135
ニューブリーク13号(HE)	"	1.015	1.075	1.065	1.090	ミルキーA	"	4.110	4.110	4.110
" 16号	"	1.036	1.100	4.175	1.075	ヨーデルB(P)	"	2.290	2.290	2.290
" 18号	"	1.070	1.130	1.590	1.070	ヨーデル肥育用	"	1.175	1.220	1.220
特配 18号	"	1.050	1.110	1.220	1.095	ヨーデル仕上用	"	1.055	1.140	1.140
" 20号	"	1.080	1.140	1.065	1.090	ヨーデルケンピオン	"	1.140	1.200	1.200
幼牛 育生(P)	"	1.040	1.105	1.095	1.070	ヨーデルケンピオン	"	1.110	1.180	1.180
若牛 育生"	"	970	1.030	1.140	4.230	成ケイ用	"	1.155	1.220	1.220
ビーフ前期(HE)	"	1.030	1.090	1.890	1.615	ニッポンサイレーズ	"	1.155	1.175	1.175
" (HE)	"	1.035	新製品	1.205	2.295					
ビーフ後期(P)	"	1.015	1.065	1.090	1.175					
" (HE)	"	1.020	新製品	1.150	1.240					
16号Sブリーク	"	1.060	1.135							
ニューブリーク12号(HE)	"	980	1.045							
" 15号	"	1.025	1.090							
" 18号	"	1.052	1.120							
乳牛 16号	20K袋入	1.060	1.120	1.163	1.225	ヨーデル16号	20Kバツ	1.015	1.075	1.075
ニューブリーク13号(HE)	"	1.055	1.115	1.080	1.140	" 16号(P)	"	1.035	1.095	1.095
" 16号	"	1.080	1.140	1.016	1.110	" 20号(P)	"	1.075	1.135	1.135
" 18号	"	1.110	1.175	1.070	1.110	ヨーデルケンピオン	"	1.095	1.155	1.155
ニューブリーク	"	1.030	1.090	1.035	1.110	" トッゾ	"	1.010	1.070	1.070
特配 18号	"	1.090	1.155	1.030	1.095	" エース	"	1.030	1.090	1.090
" 20号	"	1.125	1.185	1.030	1.095	" (P)	"	1.060	1.090	1.090
ニューブリーク12号(HE)	"	1.020	1.085	1.055	1.120	成ケイ用	"	1.110	1.170	1.170
" 15号	"	1.070	1.130	962	1.075	ヨーデル16号	20K袋入	1.070	1.130	1.130
" 18号	"	1.095	1.155	1.050	1.105	" 16号(P)	"	1.090	1.150	1.150
幼牛 育生(P)	"	1.085	1.145	1.030	1.085	" 20号(P)	"	1.130	1.195	1.195
若牛 育生"	"	1.010	1.070	1.205	1.270	" 20号(P)	"	1.155	1.215	1.215
ナゾブリーク	"	1.055	1.105	1.120	1.185	ヨーデルケンピオン	"	1.165	1.220	1.220
カーフミール	"	2.295	2.295	1.090	1.155	" トッゾ	"	1.065	1.125	1.125
ビーフ前期(P)	"	1.070	1.120	1.055	1.120	ヨーデルケンピオン	"	1.085	1.145	1.145
						エース	"	1.115	1.145	1.145

昭和53年度生乳月別取扱



昭和53年度 生乳販売月別取扱

53.3~53.7

月	中標津農業協同組合				根室管内		
	53年度実績				53年度実績		
	乳量	金額	前年比	計画比	乳量	前年比	計画比
3	2,702,681.5 kg	198,310,537円	110.2%	103.0%	21,189,867.0 kg	112.62%	119.59%
4	3,071,398.5	223,791,341	107.4	100.3	24,687,584.5	109.45	102.14
5	3,676,193.0	265,293,900	108.0	100.9	29,661,082.5	109.19	102.15
6	4,530,510.5	321,933,721	107.6	100.6	36,203,483.0	107.30	100.00
7	4,664,088.5	331,321,164	104.7	97.9	36,901,239.0	104.5	97.9
計	18,644,872.0	1,340,650,663	107.6	100.5	127,453,389.0	107.3	100.3

9月・10月・11月

天気予報

札幌管区气象台

▼九月、初めは前線の影響を受けやすく、天気は不安定で局地的に大雨の降る恐れがある。中旬以降は移動性高気圧が通りやすく、秋晴れの日が多い見込み。月末には一時寒気が入り冷え込む日があるだろう。平均気温は平年並み、やや低く、降水量は平年並み。

▼九月初めは前線の影響を受けやすく、天気は不安定で局地的に大雨の降る恐れがある。月半はごろからは秋晴れの日が多くなるだろう。十月から十一月の前半にかけては天気は周期的に変わり、初霜や初雪の季節現象もほぼ平年に近く、大陸の高気圧が強まってくるのは十一月後半の見込み。なお、日本に影響する台風は九月に一個ぐらいと予想している。月別予報次の通り。

▼十一月、前半は十月に引き続き天気は周期的に変わり、晴天の日が多い見込み。後半には大陸の高気圧が時々強まり、北部や西部では雪の降る日が多くなってくるだろう。平均気温は平年並みかやや低く、降水量は平年並み。

「牛舎飼料タンクの近くを
高圧線が通っていませんか」

北電だより

飼料タンクに飼料を注入するときには、ユニックブームやバキュームホースブームが、半径5〜6mの範囲で稼働します。高圧線が通過している場所です。したがって、その行動半径内に高圧線が通過している場所です。高圧線に触れて運転手が感電し死傷する災害が、道内酪農地域

でひん発しています。このために、運輸業界に対しましては特段の注意をお願いしておりますが、タンクの位置を安全な場所へ移動することによりこの様な悲惨な事故を未然に防止することができます。

つきましては、タンク設置場所

から6m位の範囲内の高圧線の有無を確認していただき前記距離内にあるタンクの位置の移設を早急をお願いいたします。

なお、今後新たたにタンクを設置する場合、または、距離の確認について不明な点がありましたら最寄の当社電業所か中標津営業所へご連絡をお願いいたします。

中標津町東七条北二丁目
北海道電力株式会社
中標津営業所
電話二二二〇一〇

「災害事故防止」について

中標津警察署

毎年全国各地で大規模な災害が発生しているところでありますが、

本年に入り本州府県において、「伊豆大島近海地震」「宮城県沖地震」があり、勘大な被害を受けたほか、各地で豪雨等による被害が相次いでおります。

管内においては、ここ数年来大規模な災害の発生をみておりませんが、本年度に入り暴風雨（雪）による警報七回、津波警報が三回発令されるなど、大規模災害に発展するおそれのある情勢下にあります。

特に最近では、地震の発生がひんぱんにあり、改めて地震災害対策が叫ばれているほか、時期的にも台風シーズンをむかえようとしております。

※地震（津波）について

地震の規模、震度、震源地、地震津波情報などの地震に関する基礎知識を覚えておくこと。又、地震心得を身につけておき被害を最少限にとどめなければなりません。心得については、統一されたものはありませんが、次の点について

習性化しておく必要があります。

▲家庭では

●普段の心構え

1 危険箇所のチェック、防止措置。

2 火元の始末は完全に。

3 避難場所、道路の確認。

4 非常持出品の準備。

5 防災訓練への参加。

6 隣近所の協力体制。

●地震が発生したとき

1 あわてて外にとび出さない。

2 すばやく火の始末を。

3 隣近所の協力。

4 避難の準備を早めに。

5 テレビ、ラジオで情報を聞く。

●避難の必要が生じたとき

1 集団で指定の場所へ。

2 狭い路地、堀、崖下、川に近ずかない。

3 切断された電線に注意。

4 非常持出品は最少限に。

5 避難は徒歩で。

6 デマに気をつける。

▲学校では

●普段の心構え

1 建物、設備、備品の点検整備。

2 防災計画を立てる。

3 訓練による避難要領の周知徹底。

●地震が発生したとき

1 一時的に身の安全を（机の下に）

2 児童生徒をおちつかせる。

3 火元、薬品の始末を完全に。

●避難の必要が生じたとき

1 揺れが峠を越えたら校庭へ。

2 校庭へ集合したら点呼で安全確認。

3 指定場所への避難は集団で。

～低学年には、上級生のリーダーをつける～

▲外出先では

●普段の心構え

1 常に家人等に行先を告げておく。

2 地理建物の構造をよく覚えておく。

●地震が発生したとき

1 堅固な柱に身を寄せて一時身を

守る。

2 危険なものに近づくな。

●避難の必要が生じたとき

1 まわりの人と協力して冷静な行動。

2 群集心理にかられるな。

3 安全な場所に一時避難。

▲ドライバーは

●普段の心構え

1 必ず消防火器を積んでおく。

2 交通規制の内容を知っておく。

3 大地震には自動車を放棄する覚悟を。

●地震が発生したとき

1 地震と思ったら左側に寄りエンジン

2 しばらく様子を見ラジオ情報を

3 近く空地、駐車場へ入れる。

4 震災時の交通規制を守る。

5 火が出たら素早く消火。

●避難の必要が生じたとき

1 車を放棄し徒歩で避難。

2 まわりの者と協力して安全な場所

3 住民と共に指定場所に。

●地震の心得

●大地震の時は、まずしようぶな

家具に身を寄せる。

●狭い路地、堀のそば、崖や川べ

りに近よるな。

●手ばやく火のしまつを。

●一分すぎたらまず安心。

●人命救助には消火が第一。

●海岸では津波、山地では山津波

に注意せよ。

●余震を恐れず、デマに迷うな。

●秩序を守り、衛生に注意せよ。

※台風

※台風が来る前に

(1)家の外周

ア雨戸や緑側の戸はしっかりし

め、外からサンを打つ。

イ木製など弱いへいには支柱を

たて庭木にもそえ木する。

ウ下水や側溝はよく掃除をして、

水はけをよくする。

(2)非常用品の準備

アイざとという時になってあわて

ないよう、非常持出品などはあ

らかじめ用意する。

イ用意するものは、

現金、貯金通帳、証書、印鑑な

ど、懐中電灯、トランジスター

ラジオ、水筒、非常食、救急薬

品、下着、ロープ、大工道具。

エ窓には、カーテンをひく。

ウ避難場所、避難路を確認し家

族で話し合う。

エ窓には、カーテンをひく。

ウ避難場所、避難路を確認し家

族で話し合う。

アガラス窓には、テープをはる。

イ窓には、カーテンをひく。

ウ避難場所、避難路を確認し家

族で話し合う。

アテレビ、トランジスタラジオ

で情報をよく聞く。

イすでに発生している被害から

身辺にどのような災害が発生す

るかを判断、対策を考える。

(2)非常用品の準備

アイざとという時になってあわて

ないよう、非常持出品などはあ

らかじめ用意する。

イ用意するものは、

現金、貯金通帳、証書、印鑑な

ど、懐中電灯、トランジスター

ラジオ、水筒、非常食、救急薬

品、下着、ロープ、大工道具。

エ窓には、カーテンをひく。

ウ避難場所、避難路を確認し家

族で話し合う。

アガラス窓には、テープをはる。

イ窓には、カーテンをひく。

ウ避難場所、避難路を確認し家

族で話し合う。

アテレビ、トランジスタラジオ

で情報をよく聞く。

イすでに発生している被害から

身辺にどのような災害が発生す

るかを判断、対策を考える。

(2)非常用品の準備

アイざとという時になってあわて

標別	組合員名	上旬	中旬	下旬	標別	組合員名	上旬	中旬	下旬	標別	組合員名	上旬	中旬	下旬	
バ	三宅忠義	0	0	0	バ	真部 愈	0	0	1	バ	谷村茂夫	1	1	2	
バ	門馬四郎	0	0	0	バ	渡辺利秋	0	1	1	バ	武田三郎	1	1	0	
バ	中塚文夫	0	0	2	バ	田代良司	0	2	0	バ	藤井弘美	0	0	0	
バ	石原竜雄	0	1	1	バ	相沢武雄	0	1	1	バ	北村一仁	0	0	0	
バ	西井 武	1	0	1	バ	太田俊昌	0	0	0	バ	杉本匡視	0	0	1	
バ	土井上信一	1	0	0	バ	古瀬敏弘	0	0	0	バ	佐藤 康	0	0	0	
バ	土井上政雄	1	0	0	バ	小谷盛一	0	0	0	バ	松本幸男	0	0	1	
バ	小沼佐太郎	0	0	1	バ	秋山政雄	1	0	0	バ	飯野一郎	0	0	1	
バ	熊谷 正	1	0	0	バ	齊藤 勉	0	0	0	バ	横田国雄	1	1	1	
バ	山本雪信	1	1	1	バ	広瀬定夫	0	1	0	バ	竹下日吉	0	0	1	
バ	真野米光	1	0	0	バ	半沢勇雄	0	0	1	バ	柳田治郎	2	0	0	
バ	寺島 享	0	0	0	バ	笠原良夫	1	2	0	バ	青木喜三	0	1	0	
バ	佐藤憲治	2	0	0	バ	武田伊三郎	0	1	0	バ	青木重次	1	0	1	
バ	佐藤忠男	0	0	1	バ	後木 章	0	0	0	バ	関又左工門	0	0	0	
バ	佐藤和雄	0	1	1	バ	久保花次郎	0	2	1	バ	横田好一	1	1	1	
バ	塩田専治	0	0	0	バ	新井 真	0	1	1	バ	田島量平	0	0	0	
バ	五十嵐徳治	0	1	1	バ	片野 博	0	0	0						
バ	田中清司	0	1	1	第二俣落地区										
バ	山本秀夫	0	0	0	バ	西村徳守	0	0	0						
バ	安達武蔵	0	0	0	バ	保科 清	1	1	1						
バ	志賀安尾	0	1	0	バ	松岡喜代之助	0	0	0						
バ	志賀正治	0	0	0	バ	田代 昭	1	1	1						
バ	篠永鉄雄	0	0	0	バ	井ノ口定則	0	1	1						
俣落地区					バ	安江八五郎	1	0	0						
バ	原 藤子	0	0	0	バ	鋸持広昭	1	1	0						
コ	大木敏夫	0	1	1	バ	齊藤 別	0	0	0						
コ	小林金司	0	1	1	バ	峰松秀樹	0	1	1						
バ	板橋松寿	1	0	1	バ	山口広幸	0	0	1						
バ	岩井 昇	0	0	0	バ	沖 一美	0	0	0						
バ	服部一好	0	0	0	バ	片岡宅次	0	0	0						
バ	遠藤太一	0	1	0	バ	弾正原正春	0	0	0						
バ	遠藤幸吉	0	0	0	バ	国光 昭	0	0	1						
バ	高橋正三	0	0	0	バ	遠藤直行	0	0	0						
バ	松村晴由	0	1	1	バ	佐伯 次	1	1	1						
バ	小山美芳	0	0	0	バ	来栖 寛	0	0	0						
バ	本村正春	0	0	0	バ	川村清身	0	0	0						
バ	菅原 清	1	0	0	バ	加藤 繁	0	0	0						
バ	上村弘志	1	1	1	バ	萩原蝶七	0	1	1						
バ	上村重光	0	0	0	バ	星野昇司	0	0	0						
バ	上村 力	0	0	1	バ	星野盛恵	2	2	0						
バ	松本正通	0	2	1	バ	滝本勇雄	0	0	1						
バ	藤原信男	1	0	1	バ	滝ヶ平義明	0	0	0						
バ	遠藤忠義	2	1	1	バ	滝ヶ平 茂	0	0	0						
バ	山下鉄男	0	2	0	バ	滝ヶ平 夫	1	0	0						
バ	阿部 稔	0	0	0	バ	内山 勲	1	0	0						
バ	上ヶ島国雄	1	0	1	バ	八木原 明治郎	0	0	0						
バ	山崎民蔵	0	1	0	バ	中浦健夫	0	0	0						
バ	藤田貞蔵	0	0	1	バ	前原秀隆	1	0	0						
バ	藤田誠一	1	0	0	バ	町田芳照	0	1	0						
バ	鋸持幸男	0	0	0	バ	房川喜清	0	0	0						
バ	遠藤与畏二	0	0	0	バ	宮脇正治	0	0	0						
バ	宮田 実	1	0	1	バ	滝本信孝	0	1	1						
バ	鷲見 孝	0	1	2	バ	富沢保男	0	2	2						

“0乳出荷を目標に頑張ろう”
 乳房炎の牛乳は出荷しません
 出来ません!!

旬別個乳検査成績 (ランク別戸数)

ランク別旬	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	218	77	18	2	0	0	315
中旬	199	97	17	2	0	0	315
下旬	185	111	19	0	0	0	315
合計	602	285	54	4	0	0	945
合格率	63.7	30.2	5.7	0.4	0	0	100

地区別個乳合格率

地区旬	当幌	中標津	俵橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	93.3	94.1	95.7	85.3	92.9	96.1	97.8	93.7
中旬	100.0	96.1	91.5	85.3	98.2	96.1	89.1	94.0
下旬	96.7	94.1	89.4	91.2	92.9	96.1	97.8	94.0
月平均	96.7	94.8	92.2	87.3	94.0	96.1	94.9	93.9

8月 乳質検査成績表

中標津農業協同組合

標別	組合員名	上旬	中旬	下旬	標別	組合員名	上旬	中旬	下旬	標別	組合員名	上旬	中旬	下旬	標別	組合員名	上旬	中旬	下旬
	当幌地区				バ	高藤祐藏	0	0	0	バ	国見正雪	1	1	0	バ	佐々木武雄	0	0	0
バ	飯島光五郎	0	0	0	バ	連田弘	0	0	0	バ	国見実	1	1	0	バ	日下一芳	0	0	0
バ	飯島精一	0	0	0	バ	永谷雄幸	0	1	1	バ	齐藤哲雄	0	0	0	コ	福島広光	2	3	1
バ	奥田勝佳	0	0	0	バ	長繩弘	0	0	0	バ	齐藤栄七	0	1	1	バ	加茂正毅	0	0	1
バ	奥田岩男	0	0	0	バ	麻郷地忠	0	1	0	バ	伊藤七郎	0	1	1	バ	佐々木政行	0	0	2
バ	中山安寿	0	0	0	バ	麻郷地忠勝	0	0	1	バ	千葉清一	1	0	0	バ	三友盛行	0	0	0
バ	山川健三	1	0	0	バ	小針晴信	1	0	0	バ	村井直行	0	1	0	バ	高島貞作	0	0	0
バ	阿部俊勝	0	0	0	バ	花川秀一	1	1	0	バ	山崎正喜	0	0	1	バ	福島信一	0	0	0
バ	鈴木祥幹	0	0	0	バ	古沢亀治	0	1	1	バ	後藤田信夫	1	0	0	バ	古田起雄	0	1	2
バ	西垣丈夫	2	1	1	バ	花川稔	0	0	0	バ	齐須安雄	0	1	0	バ	本田萌	0	0	1
バ	小原治	1	1	1	バ	今井秀和	0	0	0	バ	今井靖清	1	0	0	バ	中村敏夫	0	0	0
バ	吉田繁行	0	0	1	バ	東原正広	1	2	1	バ	山田良太郎	0	1	1	バ	真野勇	0	2	2
バ	竹村満夫	0	0	0	バ	岡部実	0	0	0	バ	房川喜延	2	1	1	バ	多田俊夫	0	1	2
バ	高橋常次	2	1	1	バ	渡辺善行	0	0	0	バ	笹淵二郎	0	0	1	バ	小岩正一	0	0	2
バ	筒井留雪	0	0	0	バ	松隈健二	1	1	0	バ	井上亮夫	2	2	1	バ	伏見哲	0	0	1
バ	筒井良秋	1	0	0	コ	小林義忠	1	0	0	バ	笠井剛	0	1	0	バ	中川一平	1	2	1
バ	室井太吉	0	0	0	バ	古瀬イセ	0	0	0	バ	赤堀岩男	0	1	1		武佐地区			
バ	安田康正	1	0	0	バ	藤本久雄	2	0	1	バ	鈴木敏夫	1	1	2	バ	丹羽孝	0	0	0
バ	山田一男	1	1	2	バ	小川清	1	1	0		俵橋地区				バ	丹羽賢一	0	0	0
バ	松田昌介	0	0	1	バ	佐藤道嘉	0	0	0	バ	名越成夫	0	1	0	バ	亀井泉	0	0	0
バ	舟田正明	0	0	0	バ	佐藤末美	0	0	1	バ	佐藤清	0	0	1	バ	中司哲弥	0	0	0
バ	菊地良	0	0	1	バ	佐藤拡	0	1	0	バ	乾守夫	1	0	0	バ	上原徳保	0	1	1
バ	遠田要三	0	0	0	バ	佐藤永雄	1	0	0	バ	乾洋	1	1	1	バ	工藤正義	0	0	0
バ	西山隆一	0	0	1	バ	佐藤東	0	0	1	バ	伊東武	0	0	0	バ	舟橋清高	0	1	1
バ	長正路正義	0	0	0	バ	望月幸男	1	0	0	バ	大山富雄	1	2	0	バ	酒井清志	1	1	0
バ	大野富夫	1	0	0	バ	白築政博	0	0	0	バ	山下孝二	0	0	0	バ	目黒雅隆	0	1	0
バ	吉成はな子	0	1	1	バ	武田勇	2	0	1	バ	北川栄治	0	1	1	バ	工藤重美	0	0	0
バ	福村守	0	0	0	バ	高橋敏夫	0	0	1	バ	水本正二	1	0	0	コ	児島喜一	1	1	1
バ	遠藤弘成	0	0	1	バ	熊倉彦吉	0	0	0	バ	水本一三	0	0	0	バ	児玉光彦	1	0	0
バ	笠原金吾	1	1	1	バ	小林茂夫	0	0	0	バ	山本正八	1	0	0	バ	坂口亀一	3	0	1
バ	唐崎幸司	0	0	0	バ	阿部正六	0	0	0	バ	榎田英雄	1	1	1	バ	白田稔	0	0	0
	中標津地区				バ	佐藤三男	0	0	1	バ	穴吹貞明	1	1	1	バ	新谷正治	0	0	2
バ	綏坂欣一	0	0	2	バ	長淵貞義	0	1	0	バ	佐藤きゑ子	1	1	1	バ	井口精一	0	0	0
バ	綏坂恭民	1	1	1		開陽地区				バ	佐々木文作	1	1	1	バ	川上茂	0	1	1
バ	吉川晴久	1	0	0	バ	土井上昭男	1	1	1	バ	野口忍	1	0	0	バ	長谷川寿	0	0	0
バ	滝場光明	0	1	0	コ	向館金吾	2	0	0	バ	太田功	0	0	0	バ	花尻武雄	0	1	1
バ	久保慶一郎	0	1	0	コ	山田輝男	2	1	2	バ	岡次郎	0	0	0	バ	中条由治	0	0	0
バ	久我良夫	0	0	0	コ	船越政雄	2	0	0	バ	金子安有	0	0	1	バ	中条啓一	1	0	0
バ	正城純一	0	0	0	コ	浅野トミ子	1	1	1	バ	高野国雄	0	1	1	バ	奥村保章	2	2	2
バ	荒昭一	0	1	1	バ	吾妻寅男	0	3	1	バ	中林勇	0	1	1	バ	萱岡信二	0	0	0
バ	桜井誠造	0	0	0	コ	鈴木嵩	1	2	2	バ	工藤隆弘	0	1	1	バ	高橋昌信	1	1	1
バ	佐々木繁雄	1	1	1	バ	桜井精治	0	1	0	バ	赤波江清	0	0	1	バ	中塚秀夫	0	0	1
バ	佐藤信義	0	0	1	バ	高橋寅之助	0	0	0	バ	沢口正志	0	0	1	バ	黒田正夫	1	0	1
コ	奥村武雄	2	2	2	バ	中本栄二	0	1	0	バ	桜井義雄	2	0	0	バ	藤原勝一	0	1	0
コ	阿部忠次郎	3	1	2	バ	丸田良夫	0	1	0	バ	大西秀良	0	0	0	バ	秋山実太	0	0	1
バ	三森章司	1	1	1	バ	鈴木重蔵	1	1	0	バ	大西英明	0	0	0	バ	佐藤春行	0	0	0
バ	川手輝雄	0	1	1	バ	高橋一男	1	2	1	バ	福島昭憲	0	1	0	バ	佐藤一広	0	0	0
バ	下山恵市	1	0	1	バ	高平幸夫	0	0	0	バ	下川原秀子	0	1	0	バ	清原賢一	0	0	0
バ	石崎多門	0	0	0	バ	中本要	0	0	0	バ	三輪貞夫	0	0	0	バ	湯山稔	2	0	2
バ	林仁一郎	1	0	0	バ	半沢利平	0	2	0	バ	西山一義	0	0	0	バ	湯山幸男	0	1	1

感謝をこめて 敬老給付金を

本組合通常総会において設定された、敬老給付金が永年組合発展に寄与した高令者の方六十一名に八月十日役職員が各戸を訪問し感謝をこめて支給いたしました。

ます。それは大企業の工業製品洪水のような輸出によってもたらされる農畜産物の輸入増大によって、いわゆる政策的に作られた需給のアンバランスをあたかも国内生産が過剰であるかのような宣伝を行政等が行っており、まさに官民一体となつて原因には触れずに結果だけを以つて我々末端の農民にいわせしよつてしまつて居るのであります。

我々はこのような現状を良く見極め、何が真実であるかを判断し自分の経営を生活の安定のために同志の皆さんと一緒に活動をして

農民連盟 発足に当り

書記長
多田 俊夫

組合員の皆様毎日の農作業大変ごくろう様です。さてこの程一〇名の盟友の賛同をいただき、中標津農民連盟が発足致しました。

過去十数年来、何度となく酪農を含めた農業が曲り角にきたと言われましたが今日ほどの言葉が身にしみて実感として迫つて来る時はなかったのではないかと思ひ

いきたいと考えています。本年は事業計画の一つとして税対策を重点的にとり上げ、盟友皆さんが適正な納税ができるよう取り組んで参ります。こうした身近な問題から手がけて行き、制度政策要求については全道、全国の盟友と一緒に行動をおこして行きたいと考えています。どうかこうした私たちの目的に御賛同いただき、一人でも多くの皆さんの加盟を望んで止みません。

執行体制は次の通りです。
執行委員長 松岡喜代ノ助(新生)
副執行委員長 藤田貞蔵(南侯落)
書記長 多田俊夫(南侯落)
事務局長 弾正原正春(北進)

生乳代金精算書 (組合員勘定報告書)

					発行No			整理No			
					A			B			
					A1			A2			
					A3			A4			
					A5			A6			
					A7			A8			
					A9			A10			
農協コード	生産者コード	氏名	世No		A1 販出手数料	A2 検査料	A3 会社除	A4 販売手数料	A5 販売手数料(ホクレン)	A6 農協集乳費	A7 乳代金精算金
1361	36124	コダマ ミツヒロ	0214			2,098		4,891	4,891	20,982	
年 月 分	1等乳量	1等乳原価	1等乳脂肪量	1等乳脂肪原価	B1 営農貯金	B2 経営近代化	B3 出費予約	B4	A8 農協集乳対費	A9 賦課金	A10
53 7	13988.5	36,4400	468.514	1,000	19,565	19,565	19,565		1,258	13,695	
	2等乳量	2等乳原価	脱脂乳量	脱脂乳原価	控除A計(経営費)	控除B計(その他支出)	控除合計				乳代金合計金額(南侯落)
					47,815	58,695	106,510		871,745		978,255
	補給金原価	補給金									累 計
	21,0605	294,305									

農協婦人部

商工パレードに参加



中標津音頭を踊る若妻部員

中標津町商工まつりの八月十三日、中標津音頭パレードに農協婦人部から、西当幌婦人部をはじめ二十名ほどの方々が参加してくれました。御協力ありがとうございました。

乳代精算書の説明

- 乳代精算書の中の控除される内訳について、七月分精算書を組合長のお借りして説明いたします。
- 控除A
- A 2 検査料ー酪農検査所の検査料 K 一五銭
 - A 4 販売手数料ー農協手数料 乳代の〇・五%
 - A 5 販売手数料ーホクレン手数料 乳代の〇・五%
- 控除B
- B 1 営農貯金ー乳代の二%
 - B 2 経営近代化貯金ー乳代の二%
 - B 3 出費予約貯金ー乳代の二%
- A 6 農協集乳費ー牛乳集乳費 K 一円五〇銭
- A 8 農協酪対費ーK 九銭
- A 9 賦課金ー乳代の一・四%